

< with コロナで変化する働く人の健康 47 都道府県調査 >

コロナ禍で働く人の6割が健康状態に課題？

心身の不調で生産性が低下、“愛媛県”“長崎県”をはじめ13都道府県で4割越え
“パフォーマンス低下を感じていない”は4人に1人とどまる

“働く人のライフスタイルを豊かにする”をミッション・ステートメントに社会課題の解決に取り組む株式会社 OKAN（代表取締役 CEO: 沢木恵太 / 東京都豊島区）は、全国の20～50代の働く男女3,760名を対象に“with コロナで変化する働く人の健康調査”を実施しました。

調査の結果、働く人のうち、約6割が現在の健康状態に課題を抱えていることが明らかとなりました。

今年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、テレワークや時差出勤の実施など働き方の大きな変化を受けています。従業員が求める健康支援として、感染症対策についての希望が最も多く（47.6%）、また“病気の治療と仕事の両立促進に向けた取り組み”（32.9%）や“食生活の改善に向けた取り組み”（27.4%）など、生活に関する支援への期待が高まっているようです。

調査トピックス

■ コロナ禍の健康状態 ～約6割の従業員が、自身の健康に課題感～

- ・ 生産性が著しく低下。約4割が週に数日心身の健康が理由でパフォーマンス悪化を自覚
- ・ “まったく問題ない”の回答は4人に1人とどまる
- ・ 人材定着に大きく影響！健康問題での離職経験者は4人に1人

■ 従業員の生産性 47 都道府県調査

- ・ 生産性低下の頻度が多いのは“愛媛県”“長崎県”
- ・ “1週間に数日の頻度でパフォーマンスが低下”と4割以上の働く人が回答した都道府県は、13にのぼる

■ 従業員が求める健康支援 ～感染症対策を5割が熱望～

- ・ “病気との両立支援”“食生活改善”など日常生活に関する対策が人気

今回の調査で、離職者の4人に1人が健康を理由に離職（検討）したと回答がありました。

健康・育児・介護、いろいろな「生活＝ライフスタイル」に関する理由で「働きたいけど働けない人」を目にします。これらの問題は個人のみで解決するのは難しく、「仕事≒会社」が理解し、その支援をする必要があります。働く人だけでなく、企業も変わっていく必要があります。

今年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、働き方の大きな変化を受け「ウィズコロナにおける新しい健康経営」を各社が模索しています。今年で5回目を迎える『健康経営優良法人認定制度』の認定要件でも、新たに「健康課題に基づいた具体的目標の設定」が必須要件となりました。マイナスを0にするコスト削減を目的とした健康経営から、成果指標と合わせPDCAをまわし企業活動においてプラスの効果をおよぼす健康経営へと、企業の視点も大きく変化しはじめています。

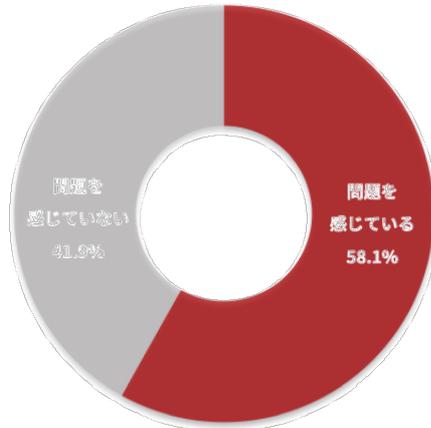
株式会社 OKAN では、今後継続して働く人・企業の“働く”について調査することで、実態を明らかにし、企業へ、働く人へのおせっかいによって、『働く人のライフスタイルを豊かにする』を進めてまいります。

【報道関係者向けお問合せ先】 株式会社OKAN 厚川・中村 TEL:050-1746-1112

トピックス

約 6 割の従業員が、自身の健康状態に問題があると回答 コロナ禍で心身の健康を意識する従業員が急増

Q：コロナをきっかけとした働き方の変化によって、健康状態に問題を感じていますか？



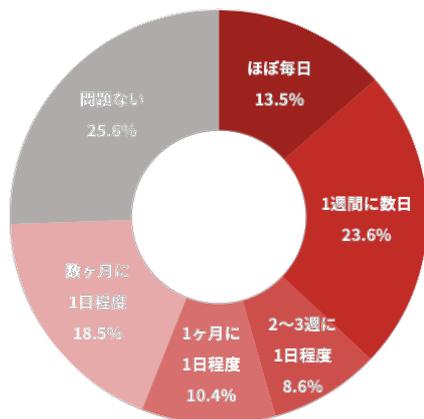
調査：株式会社OKAN 働く人におせっかいを。

コロナの影響により健康問題の増加を耳にする機会が増えています。そこでコロナをきっかけとした働き方の変化に起因する、健康状態についての実態を調査しました。

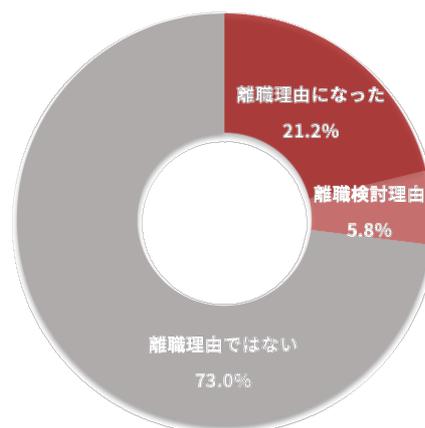
その結果、58.1%もの働く人が、健康状態に課題を抱えていると回答。テレワークの導入などで働き方に柔軟性が生まれている一方、新しい環境による健康への課題が明らかとなりました。

生産性が著しく低下。約 4 割が“週に数日”心身の健康が理由でパフォーマンス悪化 健康を理由とした離職リスクは 4 人に 1 人。従業員の健康増進が急務!!

Q：心身の健康が影響で、仕事のパフォーマンス、生産性が落ちてしまっていると、どの程度の頻度で感じますか？



Q：健康状態がきっかけで離職したことがありますか？



調査：株式会社OKAN 働く人におせっかいを。

健康状態の悪化による影響は業務の生産性にも大きく寄与しているようです。

心身の不調によって、生産性が下がった頻度について質問したところ、約 4 割もの働く人が週に数日満足な状態で働けておらず、集中力が低下、生産性の上がらない状態だということがわかりました。「健康状態による生産性の低下がない」の回答に至っては 25.6%のみと、実に 4 人に 1 人が健康起因の生産性欠如に関わっていることが明らかになっています。

また、あわせておこなった「健康起因での離職（検討）経験有無」についての質問では、27.0%が経験ありと回答。

従業員の健康をサポートできないことによって発生する“望まない離職”が少なくないことが明らかになっています。

トピックス

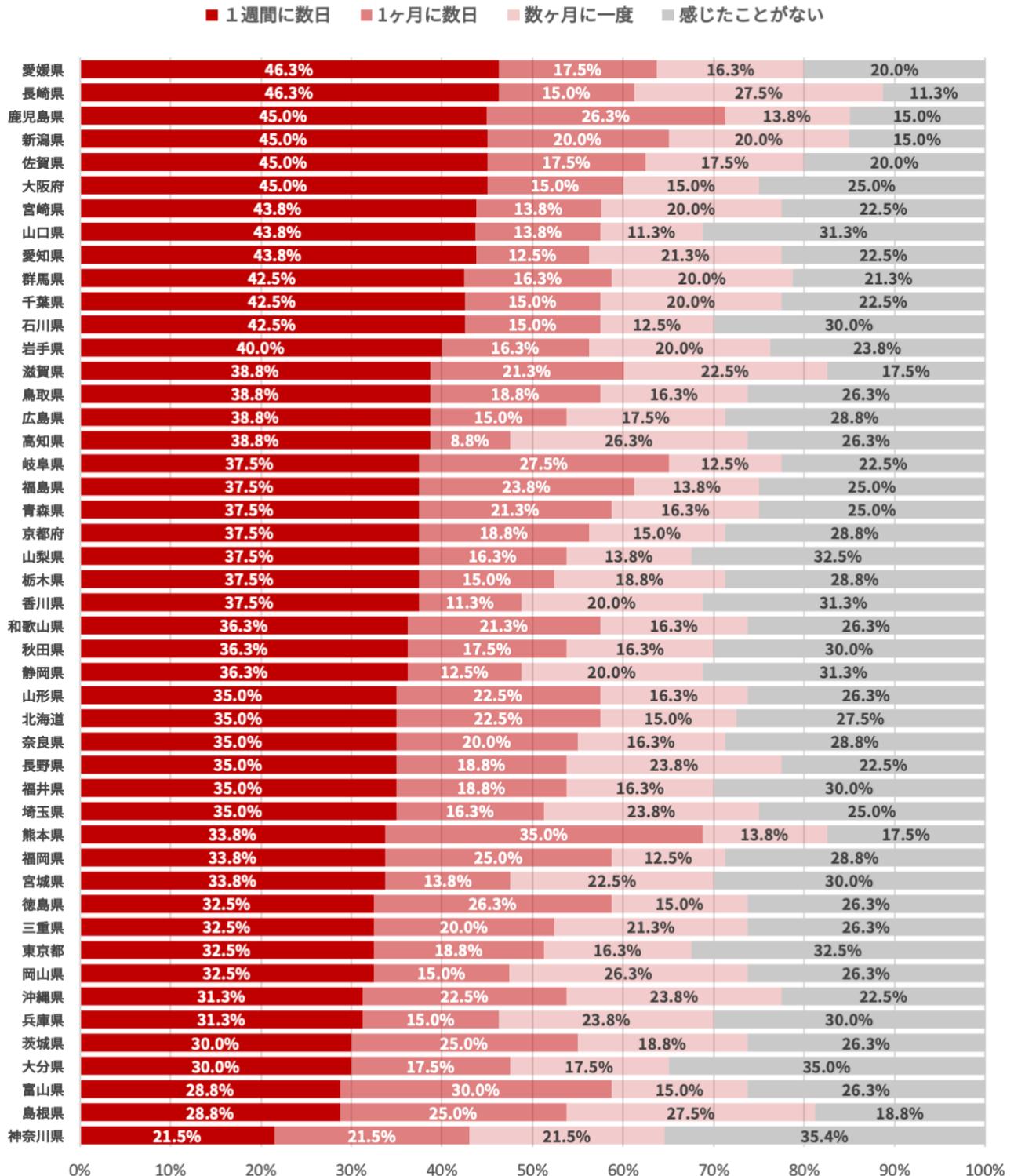
従業員の生産性 47 都道府県調査

生産性低下の頻度が多いのは“愛媛県”“長崎県”

前述の「心身の健康が影響で、仕事のパフォーマンス、生産性が落ちてしまっていると感じる頻度は？」について、47 都道府県の働く人に調査した結果。下記のような結果となりました。

“1週間に数日の頻度でパフォーマンスが低下している”と4割以上の働く人が回答した都道府県は、実に13 都道府県にのぼりました。

Q：心身の健康が影響で、仕事のパフォーマンス、生産性が落ちてしまっていると感じる頻度は？



トピックス

従業員が求める健康支援 感染症対策を5割が熱望 病気との両立支援、食生活改善など日常生活の対策が人気

今年で5回目を迎える『健康経営優良法人認定制度』の認定要件・申請スケジュールが公表され、新たに「健康課題に基づいた具体的目標の設定」が必須要件となるなど、成果指標と合わせPDCAをまわし企業活動においてプラスの効果をあげる健康経営へと、企業の視点も大きく変化しはじめています。コロナ禍において従業員がどのような健康サポートを求めているのかを、健康経営優良法人の評価項目をもとに調査しました。

調査の結果、“感染症対策”（47.6%）と、やはりコロナ対策に興味をもっている従業員が多いことがわかりました。ほかには“病気の治療と仕事の両立促進に向けた取り組み”（32.9%）や“食生活の改善に向けた取り組み”（27.4%）といった、生活に関する支援への期待が高いことが明らかとなっています。

Q：健康改善のために会社に期待する取り組みを教えてください

項目	評価項目	実施を望む項目
従業員の健康課題の把握と 必要な対策の検討	健康課題の把握	定期健診受診の促進（任意健診・検診の受診勧奨も含む） 34.7%
		受診勧奨の取り組み 25.7%
		定期的なストレスチェックの実施 21.3%
健康経営の実践に向けた 基礎的な土台づくりと ワークエンゲイジメント	ヘルスリテラシーの向上	健康セミナー・メンタルヘルスセミナーの実施 11.3%
	ワークライフバランスの推進	適切な働き方実現に向けた取り組み 26.9%
	職場の活性化	コミュニケーションの促進に向けた取り組み 15.7%
	病気の治療と仕事の両立支援	病気の治療と仕事の両立の促進に向けた取り組み 32.9%
従業員の心と身体の 健康づくりに向けた具体的対策	保健指導	保健指導 10.4%
	健康増進・生活習慣病・予防対策	食生活の改善に向けた取り組み 27.4%
		運動機会の増進に向けた取り組み 17.8%
		女性の健康保持・増進に向けた取り組み 20.2%
	感染症予防対策	感染症対策 47.6%
	過重労働対策	長時間労働への対応 31.9%
	メンタルヘルス対策	メンタルヘルス不調者への対応 29.2%
受動喫煙対策	受動喫煙対策 15.3%	

調査：株式会社OKAN 働く人に、おせっかいを。

■ 調査概要

- ・調査名 “with コロナで変化する働く人の健康調査”
- ・調査方法 インターネット調査
- ・調査期間 2020年8月
- ・調査対象 全国20～50代働く男女 計3,760名

■ 株式会社OKAN 企業概要

株式会社OKANは、「働く人のライフスタイルを豊かにする」をミッション・ステートメントに、人材不足が深刻である日本における企業課題と社会課題の解決に取り組み、「働きつづけられる」社会を実現することを目指しています。

ぶち社食サービス「オフィスおかん」、ハイジーンファクターを数値化し、問題の原因と優先順位を明確にできるハイジーンファクター改善サービス「ハイジ」の2事業を展開。仕事内容だけではなく、健康、家庭との両立、自分らしい生活など、あらゆる価値観＝「ワーク・ライフ・バリュー」を各企業個々が理解し従業員をサポートするために、これらの問題特定から改善・解決までの支援サービスを企業向けに提供しています。

- ・会社名 : 株式会社OKAN (URL: <https://okan.co.jp/>)
- ・代表者 : 沢木恵太 (さわきけいた)
- ・住所 : 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-16-15 ダイアゲート池袋 10階
- ・設立年月 : 2012年12月10日